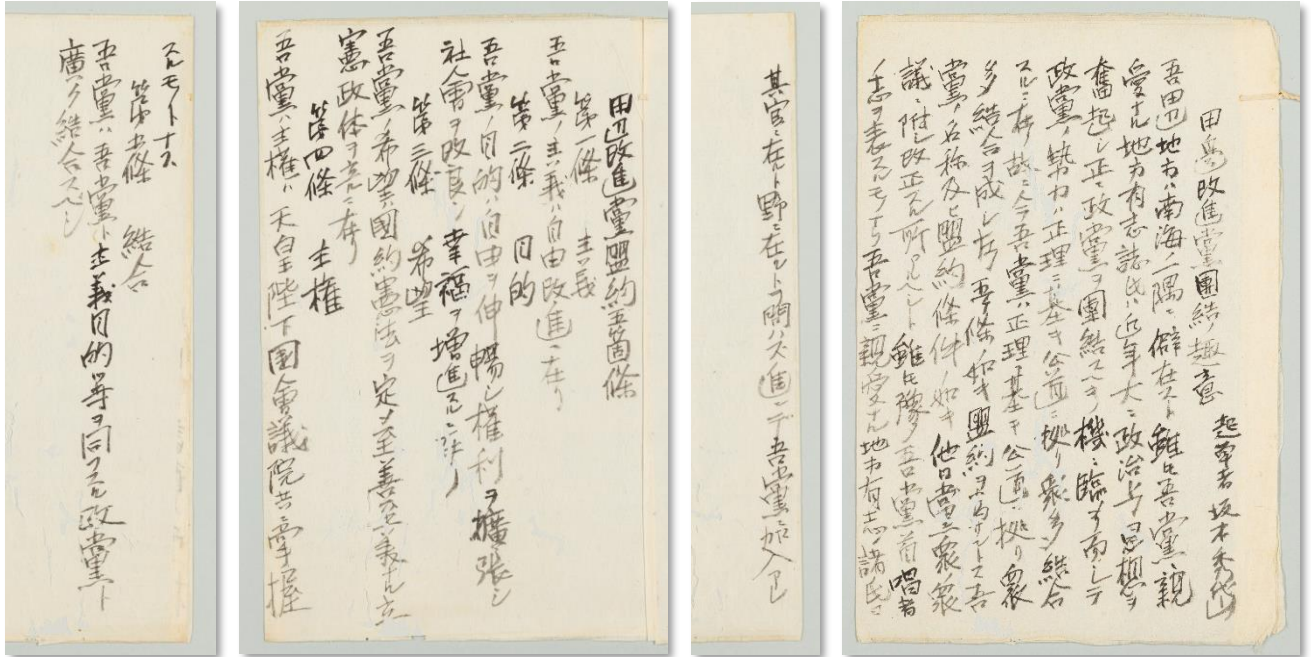


紀南の自由民権運動 — 幻の「田辺改進黨」構想 —

自由民権運動は和歌山県内にも広がり、紀南地方でも活発な動きがみられました。田辺では、知識人らを中心に啓蒙雑誌が発行され、「田辺改進黨」を結成する構想が生まれましたが、実現には至りませんでした。団結の趣意書から、紀南地方における民権運動の一端を見ていきます。

1 資料

【資料】田辺改進黨団結の趣意（部分）



* 資料全体のデジタル画像を見る

【翻刻】

田辺改進黨団結ノ趣意
起草者 坂本秀岱

吾田辺地方ハ南海ノ隅ニ僻在スト雖モ、吾党ニ親愛ナル地方有志諸氏ハ、近年大ニ政治上ノ思想ヲ奮起シ正ニ政党ヲ団結スヘキノ機ニ臨メリ、而シテ政党ノ勢力ハ、正理ニ基キ公道ニ拠リ、衆多結合スルニ在リ、故ニ今吾党ハ正理ニ基キ公道ニ拠リ衆多結合ヲ成シ左ノ五ヶ条ノ如キ盟約ヲ為サントス、吾党ノ名称及ヒ盟約条件ノ如キ他日党衆ノ衆議ニ附シ改正スル所アルヘシト雖トモ、予メ吾党首唱者ノ志ヲ表スルモノナリ、吾党ニ親愛ナル地方有志ノ諸氏ヨ、其官ニ在ルト野ニ在ルトヲ問ハズ進ンデ吾党ニ加入アレ

田辺改進黨盟約五箇条

第一条 主義
吾党ノ主義ハ自由改進黨ニアリ

第二条 目的
吾党ノ目的ハ自由ヲ伸暢シ權利ヲ拡張シ社会ヲ改良シ幸福ヲ増進スルニ在リ

第三条 希望
吾党ノ希望ハ国約憲法ヲ定メ至善至美ナル立憲政体ヲ立ルニ在リ

第四条 主権
吾党ハ主権ハ天皇陛下国会議院共ニ掌握スルモノトナス

第五条 結合
吾党ハ吾党ト主義目的等ヲ同フスル政党ト広ク結合スベシ

【語句・人名】

- ・坂本秀 岱(1840～93)…田辺町出身の医師・雑誌発行者。田辺各町聯合会議長、田辺町会議員を務めた。
- ・僻在…都会から遠く離れた所にあること。
- ・衆多…数の多いこと。多数。
- ・伸暢…伸ばすこと。また、伸びること。
- ・至善至美…この上なく善く、極めて美しいこと。

2 解説

(1) 和歌山県における自由民権運動の広がり

1877(明治 10)年前後から、自由民権運動が全国的に広がりました。和歌山県内でも国会開設を求める建白書の提出や民権運動家の演説会が行われ、紀北地方を中心とした政治結社である「実学社」が結成されるなど、県内各地で活発な動きがみられました。

(2) 紀南の自由民権運動

①山田 正の国会開設建白(東牟婁郡)

1880(明治 13)年、東牟婁郡高池村(現古座川町高池)の山田正(1848～1912)は、政府の元老院に国会の早期開設を求める建白書を提出しました。山田は著名な漢学者山田常典の次男で、小学校の教員を務め、のちに県会議員となった同地方の知識人でした。

②城 彦太郎の活動(西牟婁郡)

1882(明治 15)年、西牟婁郡江住村(現すさみ町江住)の城彦太郎(1847～84)は自邸に「熊野私学校」を設立し、近代的な思想・教養をもつ有為な青年の育成に努めました。城は、粉河の実学社を中心とする国会開設建白運動にも加わり、県会議員として積極的に民権論を主張しました。

③山口熊野による邦字新聞『新日本』の発行

東牟婁郡浦神村(現那智勝浦町浦神)出身の山口熊野(1864～1950)は東京遊学中に自由党に加わりました。その後、1887(明治 20)年に移住先のアメリカで初の邦字新聞『新日本』を発行し、政府を批判する内容の新聞を日本に送り込んだ異色の民権派でした。

(3) 本資料について

本資料は、西牟婁郡田辺町(現田辺市)の医師で、雑誌発行者の坂本秀 岱が起草した「田辺改進黨」団結の趣意書です。

田辺では、1881(明治 14)年以降、『熊野叢誌』、『田辺近報』、『幼年雑誌』という3つの啓蒙雑誌が発行され、民権論を基本とする立場から、憲法・国会開設・勸業・平和・教育など多岐にわたるテーマを取り上げました。

坂本は『熊野叢誌』と『田辺近報』の発行元の社長で、田辺における啓蒙活動の中心人物でした。坂本は1881(明治 14)年頃、郡内の有志を「西牟婁郡自由懇親会」として組織し、国会開設運動を始めようとしたのですが、実現しませんでした。

本資料が記された年代は不明ですが、地方の有志らに「田辺改進黨」への加入を呼びかけるとともに、党の盟約が5か条にまとめられています。盟約では、主義として「自由改進黨」を掲げ、「国約憲法」を定めて「至善至美ナル立憲政体」を樹立することを主張しています。また、主権は「天皇陛下国会議院共ニ掌握スルモノ」としています。「田辺改進黨」は実現しなかったようですが、田辺における民権運動の一端を示す資料といえます。

3 活用のポイント

- 歴史（歴史総合・日本史探究）の授業で自由民権運動について学ぶ場面で活用できます。
- 自由民権運動は教科書で大きく取り上げられる重要な出来事ですが、本資料を読むことで、身近な地域でも政党結成を目指す動きがあったことが理解できます。
- 全国各地の政党や結社の主張と比較し、共通点や相違点について考えることもできます。

4 出典

- ・当館所蔵 小川家文書 整理番号 あ-43「田辺改進黨団結ノ趣意」
※文書群の詳細については、[「小川家文書目録 解題」\(PDF\)](#) をご覧ください。

5 関連資料・ウェブサイト等

(1) 自由民権運動に関する資料

- ・[「民撰議院設立建白書」\(国立公文書館デジタルアーカイブ\)](#)
- ・[「国会開設之勅諭」\(国立公文書館デジタルアーカイブ\)](#)

(2) 紀南の自由民権運動に関する資料

- ・「山田正の国会開設建白書」(『和歌山県史 近現代史料四』 p.185-186)
- ・[『新日本』第8号\(1887年11月\)\(邦字新聞デジタル・コレクション〈ジャパニーズ・ディアスポラ・イニシアチブ〉\)](#) …山口熊野がアメリカで発行した初の邦字新聞。
- ・「『熊野叢誌』・『田辺近報』・『幼年雑誌』の論説」(『和歌山県史 近現代史料四』 p.189-194)

6 参考文献

- ・和歌山県史編さん委員会編『和歌山県史 近現代1』和歌山県、1989年
- ・田辺市史編さん委員会編『田辺市史 第3巻 通史編Ⅲ』田辺市、2003年
- ・後藤正人「明治初期の田辺における自由民権思想—『熊野叢誌』、『田辺近報』、『幼年雑誌』を中心に—」(紀南文化財研究会編『くちくまの 第57号』紀南文化財研究会、1982年)